

解雇撤回!被曝阻止

動労水戸

国鉄水戸動力車労働組合

水戸市三の丸三・一・三

発行責任者 石井真一 編集者 西納岳史

電話 029・227・6020

FAX 029・227・6291

戦争と非正規職化に絶対反対で闘おう!

私たちが目先の事にとらわれている間に、被曝が強制され、戦争への動員が決められ、雇用と労働時間が根本から破壊されようとしている。このままで良いのだろうか? 私たち動労水戸の主張や闘いは「絶対にマインス」なのか? 深く考える時が来ている。

深刻化している 放射線の健康被害

10月13日いわき市のラトブで、動労水戸・いわき合同ユニオン・NAZENいわきの呼びかけで「ふくしま共同診療所報告会」が開催された。報告会の質疑応答の中で、いわき運輸区では、白血病で亡くなった社員、休職中の社員に続き、「血液検査で3人の社員に異常が出た」と報告された。診療所医師からは「放射線は細胞分裂が活発なところに作用する。骨髄は血液やリンパ球を作るので影響を受けやすい。白血球や赤血球、リンパ球に様々な影響を与える」と説明された。放射線の影響

診療所報告会にて、原発事故への怒りを訴える参加者(10月13日)



は、1000人を越えた子供たちの甲状腺ガンだけではないのだ。チエルノブイリ原発事故では、甲状腺ガンが4年目から激増している。来年は福島第一原発事故から4年目に入る。被曝による健康被害が出てくるのはこれからなのだ。

JR水戸支社は、竜田に乗り入れる電車の利用率があまりにも低いことから、「誰も乗らない列車は危険」と警備員を車

職場を越えて団結しよう!

内巡回させている。竜田延伸は完全に破綻している。無意味で無責任な竜田乗り入れを直ちに止めさせよう! 私たちの命の問題だ!

動労水戸は、全ての労働者と

団結し命と生活を守る。職場に労働組合がない、あつたとしても入ることができないような非正規職やパート・アルバイトの労働者も含めて、誰でも入れる

青年労働者への解雇を許さない! 有機合成薬品工業 緊急抗議行動

10月31日(金)
16:10 JR湯本駅集合

また、いわき合同ユニオンには、今年の大学新卒で正社員として採用されたのに、6ヶ月の試用期間で解雇通告された青年が組合に加入し闘いを開始した。青年を育て養成するのは、社会の責任であり会社の責任だ。一生懸命やってきたのに「能力が無い」の一言で解雇を言い渡された。会社の労働組合に相談したら、取り合わないばかりか、組合幹部が彼が相談に来たことを密告したことで会社から「ウソつき」呼ばわりされた。会社も闘わない労働組合もことん腐っている。「いわき合同ユニオンがなかったらどこに相談すればよかったのでしょうか?」「動労水戸がバックの組合ですから安心です!」と生き生きと活動している。



郡山市内をデモ(9月11日)

職場・地域の命と安全、生活を守る!それが、鉄道の労働組合の使命なのだ。JR水戸支社と全ての関連労働者は、動労水戸を選択しよう!

11・2全国労働者 総決起集会

11月2日(日) 正午より
東京・日比谷野音

- ☆1047名解雇撤回・JR外注化阻止
- ☆戦争と民営化の安倍政権を倒せ!
- ☆今こそ闘う労働組合を全国の職場に!